

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	山陽学園大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	サンヨウガクエンダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中国・四国地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ(総合人間学部)、インターンシップ入門、インターンシップ(地域マネジメント学部30年度より)
	学部・研究科等名	総合人間学部、地域マネジメント学部(30年度より)
	担当教職員名・役職	神戸康弘・准教授(地域マネジメント学部)
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	28
	受入企業等数	30
	受入企業等名	ネットトヨタ岡山、くるまのハヤシ、トヨタホーム岡山、意匠堂、岡山県立図書館、マツダ、グロップ、岡山市立中央図書館、イーオン、おかもとコープ、日産自動車、ケーズデンキ、B to B、リョービツアーズ、ホテルグランヴィア岡山、マルイ、おもちゃ王国、日本セレモニー、キムラヤ、ペガサスキャンドル、玉島信用金庫、ANAクラウンプラザホテル、岡山市ESD、セキスイハイム、天満屋、ザグザグ、木造ホーム、岡山商工会議所、など。
インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ 11.その他	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	通常のインターンシップ(5日間程度、地元企業、行政機関など)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	内容は参加企業によって異なります。就業体験型、グループワークと発表、社員との座談会、見学、何らかの作品の制作体験などです。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	総合人間学部で2年次3年次と2回体験できるのが本学の特徴。2年次からのインターンシップは珍しくどこに行っても3年次ばかりで2年次は初めてと言われるケースが多いようです。平成30年度からは1年次から行っています(地域マネジメント学部)。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている

③	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	授業としてカリキュラムの中に入れて、基本的に毎週1回集まり、行っている。体験したい企業の選択、自己PRなどエントリーシートの作成と添削、応募、合格後は体験企業について事前調査、マナー研修、体験時の日誌等の配布、体験企業との事前打ち合わせ等を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	体験後は、体験中の日誌等やアンケートの提出、パワーポイントを使った発表を義務付けている。発表をしないと単位は出ない。発表はなるべく多くの学生に聞かせるため、1年生のゼミの時間などに行い、次年度につなげる工夫をしている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	全ての企業ではないが、原則として体験中1回は巡回指導として訪問し、学生と企業側担当者と面談し、双方の感想等を聞いたり、許可が出れば勤務中の写真を撮影している。写真は発表時に使用したり、大学案内等に使用することもある。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	29年度までは日誌の作成やアンケート調査を行っているが、30年度からは、実施前後で効果の測定テストを実施している。また31年度よりルーブリックの作成と学生への提示を予定している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間(うちインターンシップ実施期間5日間)複数の企業で合計5日以上になるように実施(A社3日、B社2日など)
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	全員が同じ企業に行くのではなく、学生が各インターンシップ先を選んで実施しているため、連続5日間のケースもあれば、1日のケースもあります。1日の場合は、他に4日間の体験が必要で、5日以上体験がないと単位は出ません。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	キャンパスウェブという仕組みを使っている。岡山県中小企業団体中央会が間に入り、企業に意義やメリットを伝え、キャンパスウェブへの参加を呼び掛けている。学生はキャンパスウェブ参加企業の中から体験先を選ぶ。一律、日誌等の決められたフォーマットで実施しており、企業が評価を行う。その他、リクナビなどを使うケースもある。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.sguc.ac.jp/
問い合わせ	大学等名	山陽学園大学
	担当部署名	山陽学園大学 担当教員かキャリアセンター
	担当者役職名	准教授
	担当者氏名	神戸康弘
	電話番号	086-272-6254

先	メールアドレス	kanbe@sguc.ac.jp
---	---------	------------------